



江別ユネスコ協会事務局だより 2014年10月17日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町24-6 教育委員会生涯学習課内(担当佐藤☎381-1069)

モンゴル出身力士はなぜ強いのか?～石井さとみ先生の学習会

日本の国技といわれる大相撲は、今や外国人力士の活躍に支えられています。とりわけモンゴル人は横綱をつぎつぎと輩出して、日本人好角家をヤキモキさせています。なぜモンゴル力士は強いのでしょうか?酪農学園大学・農食環境学群の石井智美教授は、その秘密を科学的に究明するため、モンゴルの遊牧民の住宅に泊りこみ、家族と同じ食事を食べて、精力的に研究を続けています。

当協会では、11月12日(水)午後6時から野幌公民館において、石井先生を迎えて学習会を開催します。テーマは「モンゴル力士が強い秘密はその食生活に!～遊牧民の食のお話」です。

海のない国モンゴルの驚くべき食生活の秘密とは? 会員多数のご出席をお願いします。

2014年度の北海道ユネスコ大会(札幌)にご参加ください

さきにお知らせしたとおり「第48回北海道ユネスコ大会:兼2014年度北海道ブロック・ユネスコ活動研究会」は、次のような内容で開催されます。当協会の会員の皆様も、多数ご出席くださるよう、お願いいたします。

◇北海道ユネスコ大会(開催のあらまし)

日時 2014年10月25日(土)13:00～17:00

会場 「かでる2・7」710号室(札幌市中央区北2条西7丁目☎011-204-5100)

テーマ 「希望の未来を拓くESD・ユネスコ活動～地域・スクールとの連携をめざして～」

主催 北海道ユネスコ連絡協議会・(公益)日本ユネスコ協会連盟

会費 会員1,000円、学生は無料。(※会員でなくても参加できます。)

※第1次参加申込みは終了しておりますが、当日申込みも可能です。直接会場へお越しください。

無形文化遺産候補「山・鉾・屋台行事」は2016年に審査!

先般(6月5日号)お知らせしたとおり、ユネスコ無形文化遺産保護条約にもとづく「無形文化遺産代表一覧表」に登録されるため、日本政府は去る3月27日の関係省庁連絡会議の最終決定にもとづき「山・鉾・屋台行事」の推薦提案書をユネスコ本部事務局へ提出しました。この件についての審査は、2015年10月に開催予定の第10回政府間委員会において行われる見込みでしたが、本年3月末の各国からの応募が、2015年の審査件数の上限である50件を超え、61件になったので、「条約運用指示書」に規定されている優先順位にしたがい、日本からの提案は2016年の審査に回されることになりました。「条約運用指示書」に定める優先順位は、およそ次のとおりです。

1. これまで1件の登録もない国からの提案および「緊急保護一覧表」への記載申請を伴う提案。
2. 複数国による提案。
3. 他の提案国と比較して過去の登録数が少ない国からの提案。

また、政府間委員会は2015年と2016年の2年間で、1提案国につき少なくとも1件を審査する方針を決めているので、日本からの提案が2016年に審査されることは確実だと思われます。

「使用済み切手」と「書き損じハガキ」の回収運動にご協力を!

当協会では創立当初より「使用済み切手」の回収運動を行い、発展途上国の結核予防など緊急医療活動に協力してきました。また「書き損じハガキ」の回収運動を実施して、日ユ連盟の「世界寺子屋運動」の資金として役立てています。今後とも皆様のご協力をお願いします。切手もハガキも、枚数の多少にこだわらず、集めた分は当協会の事務局までお届けくださるようお願いいたします。